

関西大学第一高等学校・第一中学校

2021 年度学校評価報告書



2022 年 3 月

目 次

1	本校の概要.....	1
2	今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策.....	2
3	アンケートの実施状況について.....	8
4	アンケート結果の分析.....	8
5	学校関係者評価委員会からの評価結果.....	14
6	校長の意見書.....	17
7	アンケート結果.....	18

1 本校の概要

(1) 沿革

- 大正元年 8 月 文部省告示を以て社団法人関西大学付属「私立関西甲種商業学校」設立認可
- 大正 2 年 4 月 本科 3 年制として開校
- 大正 13 年 4 月 「関西大学第二商業高校」設置認可、開校
- 昭和 4 年 9 月 天六新学舎が竣成し、従前の福島学舎から移転
- 昭和 19 年 3 月 第二商業高校、戦時学制改革により廃校
- 昭和 22 年 4 月 学制改革により関西甲種商業学校在学の 1・2・3 年をもって「関西大学第一中学校」を開校
- 昭和 23 年 4 月 学制改革により「関西大学付属第一高等学校」を開校
- 昭和 24 年 3 月 関西甲種商業学校第 34 回（有終）卒業式挙行
- 昭和 25 年 12 月 旧千里山遊園地を買収、以後関西大学外苑と呼称
- 昭和 27 年 9 月 校名を「関西大学第一高等学校」と呼称
- 昭和 28 年 11 月 関西大学外苑高台に関西大学第一高等学校新校舎落成、天六学舎より移転
- 昭和 30 年 3 月 関西大学第一高等学校 第 7 回卒業式をもって、夜間課程を廃止
- 昭和 32 年 11 月 関西大学第一高等学校 校舎増築、中学校新校舎工事の落成式を挙行
- 昭和 36 年 11 月 関西大学第一高等学校 創立 50 周年記念式典挙行
- 昭和 52 年 11 月 関西大学第一高等学校 創立 30 周年（新制）記念式典挙行
- 昭和 56 年 3 月 関西大学第一高等学校 新校舎落成
- 平成 7 年 4 月 関西大学第一中学校 共学化
- 平成 10 年 3 月 関西大学第一中学校 新校舎落成
- 平成 10 年 4 月 関西大学第一高等学校 共学化
- 平成 11 年 2 月 関西大学第一中学校・第一高等学校 体育館兼講堂 秀麗館落成
- 平成 16 年 1 月 関西大学親和館落成
- 平成 25 年 8 月 関西大学第一高等学校・第一中学校 温水プール落成
- 平成 25 年 11 月 関西大学第一高等学校 創立 100 周年記念式典挙行
一高一中校舎リニューアル 正門整備 ICT 教育設備完成
- 平成 27 年 2 月 一高グラウンド人工芝改修
- 平成 27 年 9 月 一中職員室改装
- 平成 28 年 3 月 一中 1 号館会議室改装

(2) 建学の精神、教育理念・教育方針・教育目標等

第一中学校・第一高等学校は「関西大学の併設校として、関西大学の建学の精神を受け継ぎ、真理に立脚した正義と近代市民の生活に根ざした自由かつ進取な気風を標榜して、心豊かな、有為な人材を育てることを根本に据える」という教育理念のもと、次のような教育方針並びに教

育目標を掲げ、さらなる向上と充実に向けて、学校教育計画を策定している。

教育方針「正義を重んじ誠実をつらぬく教育」

- ① 青少年が内に蔵する無限の可能性を尊重し、これを啓発する。
- ② 生徒自身の真の幸福を追求する。
- ③ 進取の気性を養い、規律を重んじ、協同の自治と精神を育成する。

教育目標「知育・徳育・体育の高度に調和した人間教育」

- ① 将来につながる基礎的知識を確実に身につける。
- ② 集団の中における自己の責任を自覚し、豊かな人間性を育てる。
- ③ 自己の健康に留意し、体力の向上をはかる

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：基礎学力ならびに幅広い教養を身につける。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 成績不振生徒に対してフォローを行い、基礎学力の向上を目指す。</p> <p>【評価指標】</p> <p><高校> ・高校1・2年は年間4回の補習と成績下位者対象の補習、高校3年は独自テストや大学入学共通テストの対策の補習を適宜実施する。</p> <p><中学> ・定期考査の結果を踏まえ、5教科を中心に4時間の補習を2・3学期期末考査前に実施する。</p>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p><高校> 高1・2年は1学期1回、2学期2回、3学期1回ずつ、成績不振者に補習を行う。高3は独自テストや大学共通テスト対策の補習を行う。</p> <p><中学> コロナ禍で時短要請があったが、可能な限り各教科で実施した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) 高校○、中学○</p> <p><高校> 成績不振者への補習は行えた。複数の科目でそれ以外の期間も補習が行われていた。</p> <p><中学> 定期考査の結果を踏まえての補習は実施できた。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p><高校>引き続き、必要に応じて補習を実施し、成績不振生徒に対してフォローを行っていく。</p> <p><中学>色々な可能性を考えながら生徒の到達度に応じた補習を行うなどの補習を検討する。</p>
<p>イ タブレット端末を活用し、多様な生徒一人ひとりに個別最適化された、資質・能力が一層育成できる教育を実施</p>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>タブレット端末の利用状況実態アンケートを11月には生徒向けに、12月には教員向けに実施した。</p>

<p>する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の利用により授業がわかりやすくなったとアンケートで回答した生徒が 75% 以上いる。 	<p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ○</p> <p>タブレット端末にインストールされたアプリケーションを利用することで、個別に最適化された教育を実践できた授業もあった。しかしアンケートでは、タブレット端末の使用率が全授業の3割～4割程度という回答が一番多く、そもそもタブレット端末を活用できていない授業も多い。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>日常的に授業でタブレット端末を活用しやすくなるよう、機器の整備、研修の実施などを行っていく。また、秀麗館や親和館、中高職員室など無線ネットワークの範囲外となっている教育現場の無線ネットワーク化を行う。</p>
<p>ウ 新図書館が生徒の学習環境を最適化する場所になるよう、整備計画の策定を進める。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の図書室の蔵書を見直し、新図書館へ移行できる蔵書を確認する。 ・ラーニングcommonsを含めた新図書館案を確定させる。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>書庫に保管されている蔵書を整理し、新図書館に移行できるよう準備を進めた。また、2022 年度に着工予定の新棟1の建設計画の中で、図書エリア・プレゼンテーションエリア・commonsエリアの図面策定や什器の配備計画について検討を行った。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ○</p> <p>書庫に保管されている蔵書の一部を除籍し、新図書館に移行する蔵書の策定に着手した。また図面については策定できたが新図書館で使用する什器の配備計画については、まだまとまっていないため、今後も継続して検討を行う必要がある。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>具体的な教育計画をもとに、引き続き新図書館での使用する什器の配備計画を検討していく。</p>
<p>エ 各種検定の受検者数を増やす。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期に各種検定の告知をする。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>昨年度同様、新型コロナ感染拡大の影響があり、受検（英検以外）を積極的に推奨できなかった。また英検に関しては、2021年度の高校2年生より独自テストの「英語」に代えて英検の4技能総合CSEスコアを用いることは決定したが、年度当初に公費等の取り扱いなど詳細が決定しておらず英検の受検を推奨しなかった。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) △</p> <p>英検に関しては、年度当初公費受験の取り扱いが決まっていなかったため受検者数は増えなかった。また他の検定に関しては昨年と同程度の受験者数だった。</p>

	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>英検公費受験の取り扱いや主体性評価指標が新たに決まった事により、年度当初からは実施予定のすべての受検回を授業内での告知やポスター掲示等を行うことでさらに推奨し、受検者数を増やしていきたい。</p>
--	--

(2) 重点目標②：豊かな人間性を育成する

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア マナー、モラル向上のための指導を行い、規範意識を高める。</p> <p>【評価指標】</p> <p><高校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を高める集会を年間3回実施する。風紀委員会を学期に1回以上開き、風紀向上の啓発を行う。 <p><中学></p> <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を高める集会を年間3回実施する。 	<p>【取組状況(Do)】</p> <p><高校></p> <p>各学期の始業式・終業式後に全校集会を行い、生活指導主任がマナー・モラル向上について話をした。また、各学年では、学年の生活指導部教員を中心に規範意識の向上を促した。</p> <p><中学></p> <p>各学期の始業式・終業式や学年集会等を通じて社会のルールやモラル向上についての指導をした。</p>
	<p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p><高校> : ◎ <中学> : ○</p> <p><高校></p> <p>各学期の始業式・終業式後の全校集会で講話を行い、外部からのクレームが減少した。生徒会や風紀委員会も積極的に活動した。</p> <p><中学></p> <p>各学年の丁寧な指導の成果が出て、登下校中のマナーは昨年度よりもさらに激減した。</p> <p>しかし、今年度から持たせている iPad の登下校中の使用方法によるトラブルが増えてきている。</p>
	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p><高校></p> <p>次年度はさらに、生徒会や風紀委員会との連携を強化し、生徒同士が啓発しあえるような仕組み作りを図りたい。</p> <p><中学></p> <p>次年度は、図書情報部や風紀委員会と連携を取り、集会やホームルームの時間を使い、生徒が適切に iPad 等を使いこなせる能力の向上を図る必要がある。</p>
<p>イ 生徒が安心、安全な学校生活を送れるように支援体制を整える。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒対象に防犯教室や熱中症 	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>感染予防に配慮しながら定期健康診断を実施した。そのデータを踏まえ心と体の健康部と保健室、カウンセリングルームが連携を取りながら生徒に指導を行った。</p>

<p>対策講習会などの研修会を中高それぞれ2回ずつ実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員対象に救急救命や学校でよく起きる事故についての研修会を2回以上実施する。 	<p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ○</p> <p>中1、高1に対してオリエンテーションの中で、新型コロナウイルス、熱中症対策について指導した。教員対象の救急救命講習は感染対策を取りながら実施した。コロナまん延の状況が変化するたびにほげんだよりや学級掲示等で予防について啓発した。中2対象に救命講習を行った。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>消防署や大阪府警との連携で行っていた講習会がコロナの影響で中止になり、学校独自で実施した。この状況は続くと予測されるのでより良い内容を模索したい。</p>
<p>ウ 人権意識を育む。</p> <p>【評価指標】</p> <p>中学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめに関するアンケート」を各学年、年2回実施する。 ・人権講演会を、各学年、年1回以上実施する。 <p>高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権ホームルームを各学年、学期に1回以上実施する。 ・「いじめに関するアンケート」を実施する。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p><高校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権ホームルームを各学年、学期に1回以上実施した。 ・全学年で「いじめに関するアンケート」を実施した。 <p><中学></p> <p>各学年で年2回の人権講演会を実施し、「いじめに関するアンケート」を年2回行った。また、全学年に人権作品を募集し、自発的な参加を促した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) (高)○、(中)○</p> <p><高校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1・3学年では人権ホームルーム(動画視聴による講演会含む)を、学期に1回以上実施した。また、第2学年の動画視聴による講演会を、2月末に実施した。 ・全学年で「いじめに関するアンケート」を2学期に実施した。 <p><中学></p> <p>オンラインを活用し、全学年で2回の人権講演会を実施した。人権作品募集に関して応募者が減り、興味関心の減衰が感じられた。「いじめに関するアンケート」を年2回実施した。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p><高校></p> <p>時代の変化に応じたテーマや手法を通じて、生徒の人権意識を育み高めるための人権ホームルームを創意・工夫して行う。</p> <p><中学></p> <p>道徳の授業との連携を深め、人権講演会などを通じてより高い人権意識の育成を目指す。</p>

<p>エ 関西大学が実施する各種セミナーへの主体的な参加を奨励する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間に3回以上各種セミナーの告知をする。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くのセミナーが中止になったが、実施されたセミナーに関しては積極的に参加するように指導した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) △</p> <p>学期に1回以上、通算年間3回以上セミナーの紹介を高校生に行った結果、実施されたセミナーに関しては、例年より多くの生徒が参加してくれた。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>新型コロナウイルス感染者数が収束し、セミナーが予定通り実施されるようになれば積極的に参加を推奨する予定である。</p>
--	--

(3) 重点目標③：より良い授業を追求する

<p>取組計画及び評価指標(Plan)</p> <p>ア 教科ごとや教科を横断した研修会を実施する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間2回以上の研修会を開催する。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>教員研修会を企画したが、新型コロナウイルスの影響で対面での実施は控え、リモートを活用して実施した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ○</p> <p>2回実施できたが、慣れないリモート形式のせいか、参加率が低調であった。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、例年実施している研修会を基本に、より良い教育のための機会を創造していきたい。</p>
<p>イ 防災教育のさらなる充実を目指す。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を中学校、高校それぞれ2回ずつ行い、緊急時の行動を教員と生徒が理解できるようにする。本校防災マニュアルの見直しを図る。 	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>中高とも5月と9月に避難訓練を行った。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ○</p> <p>感染防止のため、グラウンドへの避難はしなかったが、各教室で発災時の初動について確認した。また9月の訓練は中高同時開催で、教員が連絡連携を確認しながら行えた。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>不審者対応の訓練等を取り入れていきたい。</p>

(4) 重点目標④：学校と家庭の連携を強固にする

<p>取組計画及び評価指標(Plan)</p>	<p>自己評価</p>
<p>ア 学校と家庭との連絡を密にする。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校 成績懇談会を年間2回と個人懇談を適宜設ける。 ・中学 保護者との懇談会を年間2回実施する 	<p>【取組状況(Do)】</p> <p><高校> 年間2回の成績懇談会を行う。7月の三者面談で生徒と保護者との情報交換を行う。</p> <p><中学> コロナ禍ではあったが、日程を調整して2回の懇談会を実施した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) 高校○、中学◎</p> <p><高校> コロナの関係で成績懇談会は全体で集まることはできなかったが、代わりに動画配信を使って、各教室で説明を行った。三者面談は対面方式と Zoom を利用したオンライン形式の両方を利用した。</p> <p><中学> 感染防止の対策を講じることを第一に考え、予定通り成績懇談会を各学年2回開催することができた。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p><高校> 配慮が必要な生徒の家庭とはこれまでと同様、密に連絡をとっていく。</p> <p><中学> 感染予防を考慮し、可能な限り保護者との懇談を実施できるよう調整する。</p>
<p>イ Web ページをポータルサイト化し、家庭との連携に役立てる。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Web ページでできる保護者とのコミュニケーションの方法を確定させ、実際に運用する。 	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>本校生徒・保護者向け中高ポータルサイトの運用開始を検討した。またコロナ禍の中、校内の様子を受験生に紹介することが困難な状況で、Web ページを活用し、受験生への情報発信を検討した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ○</p> <p>中高ポータルサイトは次年度(2022年度)より運用開始が決まった。また受験生に向けては、Web ページにて学校紹介の動画を配信・学校説明会の動画を登録者に配信した。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>中高ポータルサイトが十分に活用されていくような施策を検討していく。また、より多くの受験希望者に本校の魅力を感じてもらえるようなコンテンツを検討していく。</p>

3 アンケートの実施状況について

本校の「学校評価（自己評価）」は、①自己点検・評価の内容や方法、②スケジュールについては、概ね昨年度を踏襲することとした。「教員への自己点検・評価アンケート」と共に、「生徒アンケート」・「保護者アンケート」は、中学生・高校生の全生徒・全保護者に行った。本校独自の評価項目については、昨年度と同評価及び改善方法等を検討し、本年度の教育活動を点検した上で、10月27日の本校「自己点検・学校評価委員会」において決定した。「教員への自己点検・評価アンケート」は、12月3日にアンケート本文およびマークカードを専任教諭へ配付し、12月15日を回収締切日とした。有効回答は69件（回収率80.2%）であった。「生徒アンケート」は、高校生は12月4日または12月8日にホームルーム教室で実施し、即日回収した。有効回答は高校生30クラス・1,174件(99.5%)、中学生は12月2日または12月6日にホームルーム教室で実施し、18クラス・676件(96.6%)であった。「保護者アンケート」は、高校は12月4日に配付して12月11日までに回収、中学校は12月2日に配布して12月13日を期限として回収した。有効回答は、高校保護者1,047件（回収率88.7%）、中学校保護者611件（回収率87.3%）であった。

4 アンケート結果の分析

実施対象別のアンケート結果をもとに以下のように分析した。（A：あてはまる、B：ややあてはまる、C：あまりあてはまらない、D：あてはまらない）

（1）学校生活全般に関して

本校に対する満足度

今年度も、生徒たちは学校生活を楽しいと感じており、アンケートでも中高共に91%以上の生徒が充実した学校生活を送っていることがわかる結果となった。また、保護者の満足度も高く、この学校に入学させてよかったと感じている保護者が中高共に94%を越えている。関西大学の併設校ならではの勉強にも部活動にも打ち込める環境が高く評価されていることが、このような結果に繋がっていると思う。我々教員側も、この両者の満足度を今後とも維持するためにも、より魅力のある学校づくりに向けた努力をしなければならないと考えている。ただ、「入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。」という質問に対する肯定的な回答が高校生で71%、中学生では79%であった。これは、もっと自由な校風のイメージだろうと想像していたが、入学後の課題提出を含めた学業面や生活指導面での厳しさに若干の戸惑いを感じている生徒がいるという結果なのかもしれない。

（2）学校運営について

教育方針・教育目標の理解

保護者が本校の教育方針を良く理解してくれていることがわかる結果となった。中高共に保護者の91%以上が理解しているとの回答である。生徒に関しては、中学生は86%を超えているが、高校生は全体で77%である。各学期の始業式、終業式等、全体集会の機会を捉え、教育方針、教育目標にちなんだ講話を実施したが、今後も本校教育の根幹をなすこの教育方針・教育目標をもっと生徒たちに浸透させ、生徒自らがこの教育方針を念頭に置きながら学校生活を送ることができるように指導していかなければならないと

考えている。生徒たちにはあらたまった機会の時だけでなく、日常生活の中でも教育方針が感じ取れるような工夫を講じたいと思う。

(3) 教育内容・生徒支援について

ア 危機管理

事故・事件・災害発生時の対処方法については、高・中とも80%以上の生徒が指示を受けていると回答している。これは、毎年実施している避難訓練や防犯教室の効果だと考えられるが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、これらの行事が十分には実施できなかった。

保護者については、生徒による携帯電話やスマートフォンの持ち込みを許可したこと、一斉同報メールの活用が定着したことなどが、安定した評価につながっていると考えられる。

今後は、2018年大阪北部地震発生時の教訓を活かし、生徒の安否情報をより確実かつ迅速に把握するためのシステム作りを早急に進めると共に、アフターコロナ・ウィズコロナの時代に即した対策の必要性を感じている。

イ 知育（中学）

「授業を通じ、自分の学力は向上している」と感じている生徒は88%で、昨年度からわずかだが上昇した。これは「iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っているか」という質問で、あてはまる・ややあてはまるを回答した生徒が88%いたことから、iPadを活用した授業が浸透したため、様々な教材を利用した授業が行えるようになったことが要因と考えられる。今後も生徒の積極的な授業参加が促されるように指導していきたい。

一方で、保護者に目を向けると、「学力向上のための組織的な取り組みが行われている」という質問に対し、あてはまる・ややあてはまるを回答した保護者は77%であった。今後、生徒の学力向上のためにどのような取組ができるか、さらに検討をすすめて、基礎学力の向上を計っていきたい。

また、70%以上の生徒・保護者が「質問や相談ができる雰囲気」であると回答している。この数値に満足せず、「いつでも質問・相談のできる」教員集団であることがのぞまれる。

最後に、教員アンケートを見ると、「学力向上のための、組織的な取組を行っている」という設問に対する肯定的・否定的回答がほぼ半数に分かれている。学力の上位層と下位層の間にあるギャップを埋め、すべての生徒の基礎学力が向上するように取り組んでいく必要がある。

「学力不足生徒へのフォロー」は73%が行っていると回答しており、これは昨年度よりも上昇している。また、「授業構成のための校外研修」の項目は、45%の教員が肯定的な回答であった。ICT機器を活用した授業を増やしていくことが予想される中、今後さらに教員間で技術を上げていくことを検討していきたい。

本年度より、新学習指導要領が全面実施となり、「主体的・対話的な深い学び」を実践し、学びの過程においてどのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考して

いくかということが重要となった。アンケートの結果をふまえ、引き続き努力をしたい。

ウ 知育（高校）

学情報機器の活用について・学力の向上・学力不足生徒のフォローについて、昨年度との比較をもとに分析をした。

1) 情報機器の活用について

アンケートの問い：iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っているか

対象	年度	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	2020	26%	34%	22%	18%
	2021	46%	33%	13%	8%
保護者	2020	17%	42%	30%	11%
	2021	38%	46%	13%	5%

2021年度のBYODによる生徒一人1台タブレット端末(iPad)を学校に持参して授業や学習支援活動に役立てる試みを全学年で導入する事が出来た事により、「情報機器の活用」に関する評価は生徒、保護者ともに一変している。新型コロナウイルス感染症感染の爆発的拡大により、学校で授業を受けるのが当たり前であった日常が一変した事が大きな要因である。それを可能にした要素が、①校内のネットワーク構築に関する学校法人の多大なるご支援、②BYOD導入を成功させるための教員のさまざまな取り組みであったことは言うまでもない。ただし、これはあくまで導入に関する評価である。今後、変動していく教育環境に対応して、情報機器の活用が一層求められることから、より深化し、より実利的な活用を考えていく所存である。

2) 補習授業によるフォローについて

アンケートの問い：習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われますか？（2021年生徒・保護者 教員や2020年の問いはほぼ同様）

対象	年度	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	2020	35%	43%	16%	6%
	2021	35%	44%	15%	6%
保護者	2020	19%	45%	29%	7%
	2021	25%	49%	21%	5%
教員	2020	20%	38%	41%	2%
	2021	20%	52%	20%	8%

生徒の評価がこの2年でほとんど変わらないにもかかわらず、保護者の評価は肯定的な評価の上昇（64%→74%）となっている。また、教員の自己評価も保護者評価と同様（58%→72%）である。実施の実状はほぼ変わっていないことを考えると、コロナ禍の中で、コロナ禍前の取組をほとんど変えることなく実施してきたことへの評価と推測することが出来る。今後は、情報機器を利用した成績不振者への取組等、検討していくべきである。

エ 体育

「基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくり」に関する項目の結果は、生徒・保護者・教員すべてにおいてA・B回答の合計が85～94%と非常に高い数字となっている。「保健体育科の正課授業」や「運動部の部活動」の指導が、生徒・保護者から高い評価を受けている。また教員自身もA・B回答の合計が91%となっており、自分たちの指導に自信を持っていることがうかがえる。

細かく見ると、中学生は、94%の生徒がA・Bを回答しているのに対して、高校生は85%と少し差がある。これは高3生徒のほとんどが12月上旬までに部活動を引退していること、また、保健体育科の正課授業の授業時間数も高1・高2が週3回あるのに対し、高3は週2回であり、運動をする機会が減っていることに起因すると考えられる。

オ 徳育

生徒のマナー意識やモラル向上の取組について、高校・中学の保護者のA・B回答の合計が90～91%、高校生と中学生のA・B回答の合計が80～82%と昨年より微増となっている。一方、教員はA・B合わせて96%と高く、教員側では日常生活のマナー指導に力を入れている、と認識していることが読み取れる。マナー向上には、教員側の呼びかけはもちろん、生徒自身が各自の振る舞いをよく振り返り、関大一中・一高生としてあるべき姿をしっかりと思い描き、友人同士で互いに注意しあえる関係性を作り上げることが有効である。昨年データでは、高校生は、中学生に比べてモラル向上の意識があるという回答割合が6%低かったが、本年度はほぼ偏りがなく、両者ともに80%を超えている。依然、教員の意識と比べて16%、保護者の意識と比べて10%の開きがあるが、コロナ禍において様々な困難に直面することで、モラル意識の向上が自身を取り巻く環境をよくし、互いに思いやりを持つ関係性の構築につながるという事例を、実生活の場で学び取ってくれたのではないかと思われる。

また、本年度より、一人一台のタブレット端末の購入と使用が始まった。これにより、車内などでの過ごし方などに、不適正な行動が見られたことが推測される。インターネット環境の整備とともに、それを使用する生徒各自のモラル意識の向上は欠かせない。携帯電話やスマートフォンの適切な使用とともに、今後一層の丁寧な指導が必要となる。適正にルールを守ること、各自の安全が確保されることを皆が理解し、マナーやモラルの意識が高まるよう引き続き努めていく。

いじめや不正防止の取組については、高校・中学の保護者のA・B回答の合計が88～89%、高校生・中学生のA・B回答の合計が82～84%と昨年度より1～4%高く評価されている。本校では、一貫して「いじめを許さない」姿勢を伝えており、「いじめに関するアンケート」の回答を、人権教育部が中心となって分析し、個別に聞き取りと見守りや指導を行っている。「いじめられる方にも責任がある」「過激でなければ問題ない」という、いじめ容認に傾きがちな態度を見過ごさない姿勢が、いじめの抑止につながっていると思われる。

カ カウンセリング

「担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制」について、保護者のA・B回答の合計が高校85%、中学82%となっている。生徒のA・B回答の合計は高校80%、中

学 77%となり、中学では昨年より8%上がっている。これは、新型コロナウイルスの影響で、学校が休校や学級閉鎖となり、生徒が自宅学習を余儀なくされたことと深い関係があるように思われる。

本年度は、生徒の心理的不安を当然起こるべき事象と捕らえ、カウンセリング体制や自殺予防の相談窓口のお知らせを、機会をとらえて行った。特に後者に関しては、文部科学省の「GIGAスクール構想で整備する1人1台端末等」を使つての周知要請に応え、生徒に向けてはiPadを使つての連絡とした。保護者へはメールを使つてのお知らせとなり、今後はより効率のよい周知方法の検討が必要である。

保護者、生徒の抱える問題は多岐にわたり、SNSのトラブル等の他、学習面の遅れなどに関する悩みや将来に対する不安など、これまで以上に相談を必要とする生徒が増大している。反面、それらを教員やスクールカウンセラーに相談することの心理的ハードルは高い。カウンセリング体制の周知を図り、相談することの心理的ハードルを下げることや、カウンセリングルームの利用時間の見直し等も含めより充実させることを検討していく。

【教員に対する相談】について、中学の保護者のA・B回答の合計が76%、高校の保護者の回答が80%であるのに対し、中学生・高校生のA・B回答の合計は79%、84%と両者ともわずかであるが高い。対して、相談を受けやすい環境を作っている、と回答した教員は88%である。昨年同様、本項目における教員と生徒の認知に隔たりがある点は改善されていない。

教員として、いつでも生徒や保護者からの相談や質問を受け入れる準備があるというメッセージを、より分かりやすい方法でまず生徒に、そして保護者に発信する必要がある。

また、今年度も新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校や感染の恐怖など生徒や保護者、教員も含めて心や体が不安定になりがちな一年であった。「学校の新しい生活様式」に戸惑いながら生活する生徒たちに対して、教員もカウンセラーも「いつでも相談していいよ」というアピールの機会が、例年以上に必要だったと思われる。教員の業務もコロナ禍で激増したことは否めないが、忙しそうな教員に相談しにくさを生徒が感じてしまわぬよう、私たち教員に時間的余裕ができるよう業務の合理化、整理も必要と思われる。

【人権に対する配慮の取組】については、中学校における保護者および生徒のA・B回答の合計がそれぞれ85~88%という高さであるのは、2019年度から導入された教科としての「道徳」が、人権意識を高める指導につながったためかと推察される。

A・B回答の合計が中・高保護者で86~88%、教員90%、中学生85%、高校生86%と一定の水準となっている。昨年見られた中学生と教員の間認識の差も解消され、教員の指導の方法や思いが、生徒に素直に受け止められているようである。

ただし、社会情勢を鑑みると、新型コロナウイルス対策では人権侵害が生じてしまいがちな傾向にあるので、学校生活の場でも、互いに対する理解と共存、多様性を許容できる関係性の構築が求められる。

キ 学校生活

学校行事に対する生徒会・各委員会について、中学校・高校ともに生徒会・各委員会が積極的かつ熱心に企画運営に取り組み、生徒たち自らが充実した学校行事を自分たちで作りあげていると感じている(A・B回答が高校で83%、中学校で93%)。88%の教員がこの生徒主体の活

動を高く評価しており、生徒自らが考動し、教員は生徒に助言・指導を行う能動的な活動として、受け継がれている。近年、保護者の子どもたちの活動への関心が高くなっており、それに伴って学校行事への保護者の来校も増加し、座学だけでは測れない子どもたちの成長を見られる良い機会となっている。

ク 学校間連携

高大の教育連携・進路情報の提供に関して、2020年の結果と比較した。

① アンケートの問い：高大の教育連携が積極的に行われていると思いますか？

対象	年度	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	2020	50%	38%	9%	3%
	2021	50%	36%	9%	3%
保護者	2020	36%	47%	14%	2%
	2021	39%	47%	13%	1%
教員	2020	17%	39%	32%	12%
	2021	18%	49%	22%	13%

② アンケートの問い：進路に関する情報は、提供されている

対象	年度	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	2020	56%	37%	6%	2%
	2021	53%	35%	8%	4%
保護者	2020	36%	47%	14%	2%
	2021	42%	45%	12%	2%
教員	2020	24%	50%	24%	2%
	2021	35%	48%	16%	1%

①に関しては、生徒、保護者の結果に変化はほとんど見られない。教員の「ややあてはまる」が39→49%と変化した。②に関しても、生徒、保護者の結果に変化はほとんど見られない。教員の「あてはまる」が24→35%と変化した。これは、前年度から行われている動画による学部情報の提供が一層充実したことが原因と考えられる。

ただし、①の高大の教育連携については、教員の肯定的評価が未だ70%に満たない状況であり、生徒や保護者の85%を上回る肯定的評価と異なる結果であることは変化していない。教員の評価の低い原因と改善策の検討が必要である。

(4) 研修

「校外の研修体制が充実しているか」という問いに対し、教員からやや否定的な意見が目立つ。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、校外での研修は中止が多かった。しかしながら、校内ではオンライン会議システム等を利用した研修会を試みるなど、「Withコロナ」の時代に一步踏み出せたと考える。来年度は、さらにこのような機会をとらえて、研修に努めたい。

生徒たちは、「工夫された授業や面白い実験などが取り入れられているか。」という質問に対し、肯定的回答(A・B)が中学生では80%を超え、高校生も70%を上回った。昨年度よりも数ポ

イントであるが上昇している。これは、今年度から導入した iPad を利用した授業に、教員が積極的に取り組んだ成果だと推測する。上位学年になるにしたがい学習内容が難しくなり、また受験用の問題演習などが増えてくることは致し方ないが、今後も様々な学習アプリなどの研究を続けていきたい。

中学校も高校も保護者は教員の研修が積極的に行われ、生徒に対する指導も効果的に行われていると感じていることは、アンケート結果を見ても明らかである。

今後も、諸条件を整備し、よりよい授業の実践につなげられる努力を続けたいと考えている。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

第一中学校保護者代表としてPTA 会長米富大祐氏、第一高等学校保護者代表として教育後援会会長西村栄一氏、多数の生徒たちの進学先である関西大学の教学を代表して関西大学人間健康学部教授安田忠典先生に今回のアンケート結果や自己評価に関するご意見を頂戴した。今後の本校教育にとって貴重なご意見、ご要望を頂戴することができた。以下、それらのご意見を記述する。

【関西大学第一中学校 PTA会長 米富大祐氏】

学校生活全般においては、保護者、生徒の双方において、該当する項目で「あてはまる」「ややあてはまる」が多くを占め、全体としては本校での学校生活の満足度は高いと評価できます。

現在のような制限の多い中で、学校として可能な限り保護者との関係を保つために様々な努力がなされていることと拝察します。その上で、これまで対面で行われてきた成績懇談会、担任の先生との個人懇談、部活動の説明会等の「保護者が参加対象の行事」がほぼ中止となったため、学校と保護者の緊密な交流が希薄にならざるを得ない状況を案じています。この問題は可及的速やかに今の状況に応じた形で何らかの方法が再構築されることを希望します。

2018 年の大阪北部地震の教訓から校内へのスマートフォンの持ち込みが認められ、災害発生時における生徒たちの安否確認が迅速に行えるようになることが期待され、安心感が増したという保護者の意見も多いと聞きます。しかし一方で、スマートフォンの使用によるトラブルが散見される点においては今後、先生方や保護者が一体となってこの問題について議論をする余地があると考えます。

学習面においては教員アンケートの「学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っているか」「学力向上のための、組織的な取り組みをおこなっている」の問いに対し、満足度が決して高くない傾向について。中高一貫校としての特色を大いに活かし、大学進学に足りる十分な学力を身につけることは、人間性の育成と同レベルで重要な要素だと考えます。従って、教員の先生方が一丸となって知恵を出し合い、より良い教育カリキュラムが創出されることを期待します。

教員の先生方の問いの「職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている」で、満足度が高くなかったことについて。これまで対面形式で行われてきた会議等を新しい時代に応じた形式で行うことで、先生方が教材研究により多くの時間を使えるよう、工夫がなされることを期待しています。

授業や学校と保護者との連携に加え、これまで整備された様々な情報デバイスを有効活用する

ことで、生徒たちだけでなく、先生方、保護者も含め、より充実した学校生活に役立つ仕組みが構築されることを期待します。学校生活全般においては、保護者、生徒の双方において、該当する項目で「あてはまる」「ややあてはまる」が多くを占め、全体としては本校での学校生活の満足度は高いと評価できます。

現在のような制限の多い中で、学校として可能な限り保護者との関係を保つために様々な努力がなされていることと拝察します。その上で、これまで対面で行われてきた成績懇談会、担任の先生との個人懇談、部活動の説明会等の「保護者が参加対象の行事」がほぼ中止となったため、学校と保護者の緊密な交流が希薄にならざるを得ない状況を案じています。この問題は可及的速やかに今の状況に応じた形で何らかの方法が再構築されることを希望します。

食堂の利便性について、保護者、生徒の双方において満足度が決して高くなかった点について。おそらく食堂の立地が中学校舎から距離があることを考慮すると、このような評価になるのは致し方ない部分があると考えます。そこで、利便性を上げる何らかの方法が検討されることが求められると考えます。例えば、食堂の一部のテイクアウトメニューをサテライトショップとして中学校舎玄関などのスペースで営業を行うなど、試験的に行っても良いアイデアが検討されることを期待します。

【関西大学第一高等学校 教育後援会会長西村栄一氏】

学校全体の雰囲気を見てみると、子ども達が楽しんで勉学と部活を行っているという結果は評価に値します。付属併設高校ならではの三年間の一貫教育で、より良い人間形成が出来ている様です。この殺伐とした現代において、より人の気持ちを理解できる人間を育てる事は大事だと思います。

しかし、いくつかの問題は自分の中では存在します。付属併設高校と一般入試で入学された生徒の学力の隔たりでしょうか？特に関大一高は関西大学への進学が早期に決まります。約四ヶ月の間（一二月～四月）まで大学の学部別のフォローが文系の学部では行われません。これでは大学に入学してから、ついていけない状況を生みます。三学年教職員か専門の教員を配置してはどうか？と思います。

もう一つは設備の老朽化で、学校としてのアピールが少し出来ていない様に感じます。

オープンキャンパスにおける、校内にある最新の設備は一つの大きなアピールポイントになります。他校の設備の取入れなどのよい所は、どんどん関大一高風のアレンジで改装されては如何なものかと思います。

【関西大学人間健康学部 教授 安田忠典先生】

昨年度から継続的に取り組まれている各項目については、いずれも一定以上の成果を得られていると読み取りました。貴校の取組を拝見するにつけ、すぐに、そしていつまでもオンライン授業に依存しがちな大学業界と比して中等教育の現場のみなさまのご努力に敬服する次第です。

それぞれの重点目標に対する取組についてのコメントは前回のものを参照していただくとして、2カ年を超えてしまったコロナ禍という非常事態の下で「学校に通うことの意味」を関係者が共有し、生徒もそれを理解して学び続けることが大切だと思いますので、1点だけ、少し詳しくコメントさせていただきたいと存じます。

人間健康学部では、開学時より初年次教育に重点を置いてきたことなどで、他学部の10分の1に近い退学率や、成績不振者が極めて少ないといった成果が出てきています。とくに成績不振者については、毎学期面談等を実施しているだけでなく、必要性が認められた学生に対しては定期的にカウンセリングを継続するなどのケアを施しています。こうしたしつこいまでのケアを通して、成績が振るわない学生には共通点が認められ、2つの類型に分けられることがわかってきました。1つは、学部の特徴でもあるのですがSF入試（スポーツ推薦）等で入学したものの明らかに基礎学力が不足していて授業についていけないというタイプ。そしてもう1つは、学部の専門性や雰囲気とのミスマッチです。後者の方が数も多く深刻なのですが、例えば退学する学生の多くはいわゆる仮面浪人で、意中の大学に合格すると退学、合格できなかつたら残留となるのが大半です。そうして半ば仕方なしに在学している学生は、学部で展開されているコンテンツには関心を持たず、出席率も悪くなり、成績不振者リストに名を連ねるといったスパイラルに陥ってしまうのです。

このようなミスマッチによる意欲の喪失が本学部の課題なのですが、じつは2021年度の成績不振者に対するケアとして私が面談した学生のなかに貴校出身者が2名いました。成績不振者といってもその基準はかなり厳しくて、1学期に履修できる上限単位数が24単位のところ、修得単位数が14単位未満だとリストアップされて面談することになります。しかし、この2名の学生は修得単位数が1桁で、同学年のなかでは目立ってしまうほど不振でした。面談してみると、「高校時代から成績は常に下位であった。」「大学進学も危うかったが人間健康の枠が空いていたので来ることができた。」「勉強に対して意欲がわからない。」「専門科目に興味がない。」といったことで、いわゆるミスマッチによる意欲の喪失とほぼ同様の傾向でした。

貴校から入学してくる学生は「この学部に来たかった。」という明確な意思を持っていて、まさに水を得た魚のように活躍していく人が多いのですが、開学直後より時々このようなミスマッチや、複雑な問題を抱えた人もいます。私たちは、チェックアップできる限りは在学期間を通して寄り添い励まし続けていくのですが、こればかりは本人にも御しがたい部分が多く、卒業まで多くの年数を要してしまうなどなかなか改善の目途は立たぬままここまでできてしまいました。長くなってしまいました。結論を急ぎます。こうした学生たちのほとんどは、高校時代から成績不振であったというところにポイントがあります。ミスマッチや他の様々な要因で学習意欲を喪失してしまうことはどのような学校でも必ず生じてしまいます。すべての就学者を完全に満足させるのは不可能です。だからといってそうしたごく一部の不幸なミスマッチを切り捨てるのではなく、今回私がこうした事例を報告させていただく機会をいただけたことをさらに進展させ、個別の生徒・学生の状況等についても共有していくこと、つまりこれまで以上にきめ細かい高大連携の仕組みを構築すれば、さらに多くの生徒・学生が私たちの学園で得た学びに満足してもらえるようになるのではないかと思います。ご縁があつてこうした機会をいただけたので、敢えて図々しくご提案させていただきたいと思います。とくに本学部は、そうした緊密なコミュニケーションを求めています。内部進学の特典を最大限に活かすためにも、大学の各学部と貴校との連携に様々な工夫をしていきたい。どうかご一考いただけますようお願い申し上げます。

6 校長の意見書

関西大学第一高等学校・第一中学校

校長 蔭地 陽介

関西大学の併設中学校、高等学校が本校を含めて3校の体制となって以来、各校ではそれぞれ独自の特色を前面に出し、教育活動を行っている。本校では、学力をつけることのみにとらわれる教育ではなく、「正義を重んじ、誠実をつらぬく教育」を教育方針とし、知、徳、体のバランスのとれた生徒育成を目指し、生徒自らがやりたいことに積極的に取り組める環境を整え、勉強のみならず部活動や生徒会活動等を通じて人間力を養う教育をおこなうことを目指し日々努力している。質問項目「この学校に入学してよかったと思いますか。」の問いに対し、中学生は96%が、高校生は91%の生徒が肯定的な回答をしている。生徒たちの思い描いている学校生活が送れるようにサポートをしていきたい。それに加えて、生徒一人ひとりの自己肯定感が高められるような環境づくりを接客的に行いたいと考えている。

本校生徒は卒業後の進路として関西大学に進学する割合が高く、関西大学で中心的な存在となりうる人材育成のために、基礎学力を身につけることはもちろんのこと、表現力や対話力、ひいては生涯通じて人間らしく生きていく力である人間力を身につける必要性を感じている。社会全体が少子化を迎えた時代においても、優秀な人材が本校への入学を強く希望し、入学してくれていることは嬉しい限りである。そこには本校に対する魅力が大きいからであろうが、とりわけ関西大学への進学の手やすさ、それに伴う中学生活や高校生活においてゆとりがあることは大きな魅力であると思う。教職員の役割として、生徒たちが大学進学後に困らない高等教育に備えた基礎学力を身につけさせることが必須で、そのためには平常授業の50分間を効果的に使わなければならない。今年度は中学校と高校の全学年において、一人一台のタブレット端末を持たせる環境を整備して始まった。タブレット端末の使用方法について、手探りの部分もあったが、より多くの授業で活用できる土台が作られたと感じている。質問項目「iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。」の問いに対し、中学生は87%が、高校生は79%の生徒が役立っているように思うと回答している。この数字は昨年度より高くなっており一定の学習成果がみられるものと考えている。これに満足せず、さらによりよい授業を追求し、授業力のアップを図りたいと考えている。タブレット端末を全学年持ったことにより、新型コロナウイルスの影響による学年閉鎖や学級閉鎖になった場合もオンライン授業の実施が可能となり、学習支援の観点では助かる場所が多くあった。

また、関西大学との連携において、早期に大学での学習内容を幅広く生徒たちに紹介し、大学での授業に対する魅力を知らせる機会を増やすことが重要であると考えられる。関西大学の千里山キャンパスに隣接しているメリットを最大限に生かし、関西大学の先生方のご協力をいただきながら、まずは希望者対象に告知を行い実現の道を探りたい。次のステップとして、文理コースの選択を行う前の高校1年生の段階で、学部紹介や学部の講義内容の紹介を行い、連携を深めるとともに隣接する併設の特色として打ち出したいと考えている。

あと2020年度には実施できなかった宿泊行事は、すべての学年ではないものの社会情勢を鑑み感染対策を十分講じた上で実施できた。質問項目「宿泊行事や校外学習など、校外での活動、学習は充実していると思いますか。」の問いに対し、中学生は88%が、高校生は75%の生徒が肯定的な回答をしている。やはり、生徒にとって校外での活動は楽しみにしており、意味ある教育活

動の一つであることを認識させられたように感じている。

結びに、アンケート結果から見ると、生徒、保護者ともに本校全体に対する満足度はかなり高い。しかし、細部においては時間をかけて検討すべき項目があると理解している。新型コロナウイルスの影響が出始めて2年間が経過した。Withコロナを意識し、教育活動を継続させ、さらに魅力ある学校づくりができるよう教職員一同努力していきたい。

7 アンケート結果

- 資料1 2021年度 学校評価集計結果表（教員）
- 資料2 2021年度 学校評価集計結果表（保護者：高校）
- 資料3 2021年度 学校評価集計結果表（保護者：中学校）
- 資料4 2021年度 学校評価集計結果表（生徒：高校）
- 資料5 2021年度 学校評価集計結果表（生徒：中学）

以 上

2021年度 学校評価 集計結果表

関西大学第一高等・中学校

集計対象	教員
------	----

回答者数	69
------	----

No	設問文	回答数				有効回答数	無効回答数	満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない			
1	本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	34	33	2	0	69	0	49.3% 47.8% 0.0%
2	本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	22	41	6	0	69	0	31.9% 59.4% 8.0% 0.0%
3	学校説明会は、本校の学校教育を紹介するのに役立っている。	34	31	4	0	69	0	49.3% 44.9% 5.0% 0.0%
4	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は、教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	12	31	23	3	69	0	17.4% 44.9% 33.3% 0.0%
5	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	5	18	19	27	69	0	7.2% 26.1% 27.5% 39% 0.0%
6	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	20	36	11	2	69	0	29.0% 52.2% 15.9% 0.0%
7	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられている。	22	36	10	1	69	0	31.9% 52.2% 14.5% 0.0%
8	校内での新型コロナ感染拡大防止策は、適切におこなわれている。	21	43	5	0	69	0	30.4% 62.3% 7.0% 0.0%
9	学力向上のための、組織的な取り組みをおこなっている。	7	26	29	7	69	0	10.1% 37.7% 42.0% 10.0% 0.0%
10	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	14	36	14	5	69	0	20.3% 52.2% 20.3% 7.0% 0.0%
11	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を緊密に行っている。	24	37	7	1	69	0	34.8% 53.6% 10.1% 0.0%
12	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取り組みをおこなっている。	22	44	3	0	69	0	31.9% 63.8% 0.0% 0.0%
13	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	28	35	6	0	69	0	40.6% 50.7% 8.0% 0.0%
14	情報機器とのつきあい方についての指導をおこなっている。	21	36	9	3	69	0	30.4% 52.2% 13.0% 0.0%
15	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	29	34	5	1	69	0	42.0% 49.3% 7.2% 0.0%
16	学習や部活動の施設・設備が充実している。	7	24	20	18	69	0	10.1% 34.8% 29.0% 26% 0.0%
17	関一祭などの学校行事において、生徒会や各委員会は、積極的に活動している。	33	28	8	0	69	0	47.8% 40.6% 11.6% 0.0%
18	郊外での活動・学習は、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っている。	23	34	11	1	69	0	33.3% 49.3% 15.9% 0.0%
19	本校の芸術・美術鑑賞は、充実している。	24	32	8	5	69	0	34.8% 46.4% 11.6% 7.0% 0.0%
20	勉強や学校生活について、生徒からの質問や相談を受けやすい関係を作っている。	26	35	6	2	69	0	37.7% 50.7% 8.7% 0.0%
21	生徒の人権に配慮した指導をおこなっている。	24	38	7	0	69	0	34.8% 55.1% 10.0% 0.0%
22	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的におこなわれている。	12	34	15	8	69	0	17.4% 49.3% 21.7% 12.0% 0.0%
23	進路に関する情報は、生徒に提供されている。	24	33	11	1	69	0	34.8% 47.8% 15.9% 0.0%
24	生徒・保護者の悩みに対して、教員による相談体制やカウンセリング体制が学校全体として整っている。	16	39	12	2	69	0	23.2% 56.5% 17.4% 0.0%
25	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。	11	20	26	12	69	0	15.9% 29.0% 37.7% 17% 0.0%

2021年度 学校評価 集計結果表

関西大学第一高等学校

集計対象	保護者
------	-----

回答者数	1,047
------	-------

No	設問文	回答数				有効回答数	無効回答数	満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない			
1	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	605	349	77	9	1,047	7	57.4% 33.1% 7.3% 1.7%
2	保護者として、この学校に入学させてよかったと思われませんか。	670	319	45	10	1,044	3	64.0% 30.5% 4.0% 1.3%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージどおりでしたか。	394	463	152	33	1,042	5	37.6% 44.2% 14.5% 0.3%
4	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	415	546	74	5	1,040	7	39.6% 52.1% 7.0% 0.4%
5	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	304	549	167	20	1,040	7	29.0% 52.4% 16.0% 0.2%
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていると思われませんか。	350	477	185	27	1,039	8	33.4% 45.6% 17.7% 0.3%
7	校内での新型コロナ感染拡大防止対策は、適切に行われていると思われませんか。	388	507	126	20	1,041	6	37.1% 48.4% 12.0% 0.2%
8	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。	291	502	212	38	1,043	4	27.8% 47.9% 20.2% 0.4%
9	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	402	478	135	26	1,041	6	38.4% 45.7% 12.9% 0.2%
10	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。	262	508	216	53	1,039	8	25.0% 48.5% 20.6% 0.6%
11	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	329	460	210	43	1,042	5	31.4% 43.9% 20.1% 0.5%
12	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	431	512	90	10	1,043	4	41.2% 48.9% 8.6% 0.4%
13	いじめを許さない学校・学級作り積極的に取り組んでいると思われませんか。	400	532	97	14	1,043	4	38.2% 50.8% 9.3% 0.4%
14	情報機器とのつきあい方の向上に対する取組が行われていると思われませんか。	298	546	181	17	1,042	5	28.5% 52.1% 17.3% 0.2%
15	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	392	520	116	12	1,040	7	37.4% 49.7% 11.1% 0.7%
16	学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	445	442	127	27	1,041	6	42.5% 42.2% 12.1% 0.3%
17	宿泊行事や校外学習など、校外での活動・学習は、ご子女の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っている	404	444	162	29	1,039	8	38.6% 42.4% 15.5% 0.3%
18	勉強や学校生活について、ご子女から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	357	479	178	27	1,041	6	34.1% 45.7% 17.0% 0.3%
19	教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	409	514	88	29	1,040	7	39.1% 49.1% 8.4% 0.3%
20	高大の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	403	489	131	18	1,041	6	38.5% 46.7% 12.5% 0.2%
21	ご子女の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	438	468	120	16	1,042	5	41.8% 44.7% 11.5% 0.2%
22	ご子女に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていますか。	363	524	133	21	1,041	6	34.7% 50.0% 12.7% 0.2%
23	本校の教員は教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	326	543	134	38	1,041	6	31.1% 51.9% 12.8% 0.4%
24	食堂は、利用しやすいと思われませんか。	328	463	205	47	1,043	4	31.3% 44.2% 19.6% 0.4%
25	同報メールを用いて、成績懇談会や教育後援会関連行事の連絡をするシステムを有効に活用できていると思われませんか。	631	337	59	14	1,041	6	60.3% 32.2% 5.6% 0.6%

2021年度 学校評価 集計結果表

関西大学第一中学校

集計対象 保護者

回答者数 611

No	設問文	回答数				有効回答数	無効回答数	満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない			
1	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	353	213	38	7	611	0	57.8% 34.9% 6.0% 0.3%
2	保護者として、この学校に入学させてよかったと思われませんか。	406	174	24	4	608	3	66.4% 28.5% 3.0% 0.1%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージどおりでしたか。	269	239	81	18	607	4	44.0% 39.1% 13.3% 0.7%
4	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	307	264	36	0	607	4	50.2% 43.2% 5.9% 0.7%
5	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	191	319	92	5	607	4	31.3% 52.2% 15.1% 0.7%
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていると思われませんか。	229	257	110	11	607	4	37.5% 42.1% 18.0% 0.2%
7	校内での新型コロナ感染拡大防止対策は、適切に行われていると思われませんか。	291	252	56	9	608	3	47.6% 41.2% 9.2% 0.5%
8	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。	188	284	122	14	608	3	30.8% 46.5% 20.0% 0.2%
9	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	234	258	96	21	609	2	38.3% 42.2% 15.7% 0.3%
10	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。	187	282	111	26	606	5	30.6% 46.2% 18.2% 0.3%
11	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	184	265	128	30	607	4	30.1% 43.4% 20.9% 0.5%
12	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	268	286	49	5	608	3	43.9% 46.8% 8.0% 0.5%
13	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	227	310	61	9	607	4	37.2% 50.7% 10.0% 0.7%
14	情報機器とのつきあい方の向上に対する取組が行われていると思われませんか。	173	283	131	22	609	2	28.3% 46.3% 21.4% 0.3%
15	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	252	290	61	4	607	4	41.2% 47.5% 10.0% 0.7%
16	学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	279	226	90	14	609	2	45.7% 37.0% 14.7% 0.2%
17	宿泊行事や校外学習など、校外での活動・学習は、ご子女の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っている	294	245	58	12	609	2	48.1% 40.1% 9.5% 0.2%
18	勉強や学校生活について、ご子女から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	190	277	115	25	607	4	31.1% 45.3% 18.8% 0.7%
19	教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	235	292	68	10	605	6	38.5% 47.8% 11.1% 1.2%
20	中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	160	282	143	21	606	5	26.2% 46.2% 23.4% 0.8%
21	ご子女の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	181	276	136	14	607	4	29.6% 45.2% 22.3% 0.2%
22	ご子女に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていますか。	210	290	89	18	607	4	34.4% 47.5% 14.6% 0.3%
23	本校の教員は教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	191	312	88	13	604	7	31.3% 51.1% 14.4% 1.2%
24	食堂は、利用しやすいと思われませんか。	135	235	175	60	605	6	22.1% 38.5% 28.6% 10.0%
25	同報メールを用いて、成績懇談会やPTA関連行事の連絡をするシステムを有効に活用できていると思われませんか。	340	212	40	16	608	3	55.6% 34.7% 6.5% 0.3%

2021年度 学校評価 集計結果表

関西大学第一高等学校

集計対象	生徒
------	----

回答者数	1,174
------	-------

No	設問文	回答数				有効回答数	無効回答数	満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない			
1	学校生活は楽しいと感じていますか。	760	335	46	16	1,174	17	63.8% 28.1% 3.9% 4.4%
2	この学校に入学してよかったと思いますか。	637	431	57	22	1,147	27	54.3% 36.7% 4.9% 2.9%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージどおりでしたか。	303	537	249	57	1,146	28	25.8% 45.7% 21.2% 5.2%
4	本校の教育方針を理解していますか。	368	541	181	52	1,142	32	31.3% 46.1% 15.4% 4.2%
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	443	523	140	38	1,144	30	37.7% 44.5% 11.9% 3.6%
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていますか。	460	467	171	48	1,146	28	39.2% 39.8% 14.6% 4.4%
7	校内での新型コロナウイルス感染拡大防止対策は、適切に行われていると思いますか。	476	507	128	34	1,145	29	40.5% 43.2% 10.9% 3.5%
8	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	371	526	196	51	1,144	30	31.6% 44.8% 16.7% 4.8%
9	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	543	386	151	66	1,146	28	46.3% 32.9% 12.9% 6.2%
10	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえらる仕組みがあると感じていますか。	406	514	170	53	1,143	31	34.6% 43.8% 14.5% 5.2%
11	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	509	452	145	39	1,145	29	43.4% 38.5% 12.4% 3.5%
12	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	436	522	150	35	1,143	31	37.1% 44.5% 12.8% 3.6%
13	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	476	481	147	40	1,144	30	40.5% 41.0% 12.5% 3.6%
14	情報機器とのつきあい方の向上に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	466	495	159	24	1,144	30	39.7% 42.2% 13.5% 2.6%
15	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	489	505	127	22	1,143	31	41.7% 43.0% 10.8% 2.6%
16	学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	565	425	115	38	1,143	31	48.1% 36.2% 9.8% 3.6%
17	関一祭において、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか。	576	398	126	44	1,144	30	49.1% 33.9% 10.7% 4.6%
18	宿泊行事や校外学習など、校外での活動、学習は充実していると思いますか。	472	410	161	98	1,141	33	40.2% 34.9% 13.7% 8.2%
19	勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	473	510	128	27	1,138	36	40.3% 43.4% 10.9% 2.1%
20	先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	511	503	111	20	1,145	29	43.5% 42.8% 9.5% 2.5%
21	高大の教育連携があると思いますか。	588	426	105	24	1,143	31	50.1% 36.3% 8.9% 2.6%
22	進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	623	413	96	15	1,147	27	53.1% 35.2% 8.2% 2.9%
23	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	422	514	178	32	1,146	28	35.9% 43.8% 15.2% 3.4%
24	工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	399	438	233	75	1,145	29	34.0% 37.3% 19.8% 6.2%
25	食堂は、利用しやすいですか。	666	353	87	36	1,142	32	56.7% 30.1% 7.4% 3.7%

2021年度 学校評価 集計結果表

関西大学第一中学校

集計対象	生徒
------	----

回答者数	676
------	-----

No	設問文	回答数				有効回答数	無効回答数	満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない			
1	学校生活は楽しいと感じていますか。	460	182	22	8	676	4	
2	この学校に入学してよかったと思いますか。	463	189	19	5	676	0	
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージどおりでしたか。	173	365	95	39	672	4	
4	本校の教育方針を理解していますか。	246	339	68	21	674	2	
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	330	266	66	13	675	1	
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていますか。	318	266	68	23	675	1	
7	校内での新型コロナ感染拡大防止対策は、適切に行われていると思いますか。	335	274	52	14	675	1	
8	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	287	304	72	11	674	2	
9	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	392	200	56	26	674	2	
10	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	323	278	60	14	675	1	
11	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	364	228	65	18	675	1	
12	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	270	269	82	17	638	38	
13	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	321	247	80	24	672	4	
14	情報機器とのつきあい方の向上に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	316	279	63	17	675	1	
15	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	398	239	32	7	676	0	
16	学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	391	224	47	12	674	2	
17	体育大会において、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか。	472	161	33	9	675	1	
18	宿泊行事や校外学習など、校外での活動、学習は充実していると思いますか。	388	210	63	13	674	2	
19	勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	258	278	105	33	674	2	
20	先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	286	289	65	34	674	2	
21	中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	269	261	109	34	673	3	
22	進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	268	286	97	22	673	3	
23	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	231	288	116	38	673	3	
24	工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	302	246	92	31	671	5	
25	食堂は、利用しやすいですか。	268	223	123	57	671	5	